

科目名	デザイン論 1							年度	2025
英語科目名	Design theory 1							学期	1
学科・学年	デザイン科 グラフィックデザイン専攻 1 年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	鶴田勇一			教員の実務経験	有	実務経験の職種	グラフィックデザイナー		
【科目の目的】 様々な制作物を作る前段のアイデアを論理的に考える道筋についてワークを通して学びながら、最終的には初歩のマーケティング手法について理解し、簡単な企画が立てられるようになることを目指します。									
【科目の概要】 デザイナーにとって必要なコミュニケーション力を養います。具体的には情報伝達の手法について理解していきます。情報の発信者としての立ち位置から、情報の受け手となる人たちとのやり取りを(広告的な) コミュニケーションと位置付けて、情報を必要としている人たちへ効率的、効果的に発信していくために必要な手法とはどのようなものかを学びます。									
【到達目標】 A. 受け手から送り手のマインドを持つ。 B. 送り手から受け手に視点を変えて広告を評価する。 C. マーケティングの基礎理論を理解する。									
【授業の注意点】 学生間・指導教員と学生のコミュニケーションを重視します。授業で得た知識を活用してワークを行います。授業の欠席、遅刻は無いようにすること。授業時数の4分の3以上出席しない者は課題提出と評価を受けることができない。									
評価基準＝ループリック									
ループリック 評価	レベル5 優れている		レベル3 ふつう			レベル1 要努力			
到達目標 A	普段の生活の中で受け手として見ていたものを送り手として深く想像できる		普段の生活の中で受け手として見ていたものを送り手として想像できる			普段の生活の中で受け手として見ていたものを送り手として想像できない			
到達目標 B	普段の生活の中で目にするデザインを送り手の視点で深く考察できる		普段の生活の中で目にするデザインを送り手の視点で考察できる			普段の生活の中で目にするデザインを送り手の視点で考察できない			
到達目標 C	マーケティングの基礎理論を用語を理解し用語を使い解説できる		マーケティングの基礎理論を理解できている			マーケティングの基礎理論について理解できていない			
到達目標 D									
到達目標 E									
【教科書】 無し									
【参考資料】 毎回授業で話すテーマに沿って、画面にテキスト(ビジュアル) を表示します									
【成績の評価方法・評価基準】 プレゼンテーションワーク・内容評価 授業内での小レポート									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

